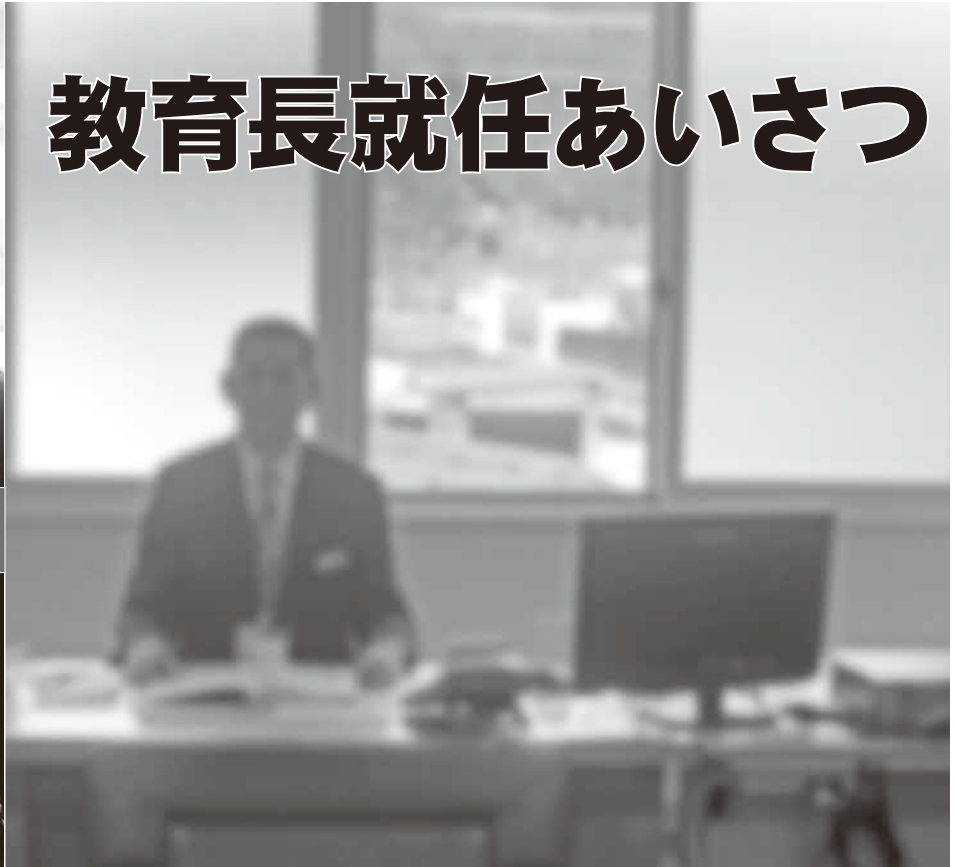




**水野 豊昭**(みずの とよあき)

昭和34年上川管内中川町生まれ。昭和57年から浦幌町で教職に就き、十勝管内6町村10校で勤務する。令和2年3月更別小学校長を退職、4月1日浦幌町教育委員会教育長に就任。趣味は読書、軽スポーツ。好きな言葉「一人はみんなのために みんなは一人のために」

# 教育長就任あいさつ



## 昭和

57年4月、狩勝峠を越え、大型トラックが浦幌駅前に着いたのは早朝でした。曲がりくねった山道を抜け、2階建ての校舎(幾千世小学校)が見えてきました。私の教員生活の始まりです。地域と学校の絆がとて強く運動会や学習発表会は地域の一大イベントでした。その他にも家庭訪問やリンク造成、PTA活動など地域の皆様と活動を共にすることが当たり前の学校で「地域の子どもたちは、地域で育てる」という心が伝わってきました。地域の農業青年団にも入れていただき、町内の若い仲間と交流できました。初任校で経験した地域と学校の絆や人と人の温かなつながりが私の教育観の基になっていることは間違いありません。

## 平成

20年4月、2度目の浦幌町での勤務は厚内小学校です。山育ちの私にとって海は憧れでしたし、校舎の2階から見える海は想像以上に素敵な景色でした。明るく素直で元氣いっばいに躍動する子どもたちに囲まれ幸せな時間を過ごしました。しかし、運動会は3回とも天候に恵まれませんでしたが、ある時の気温は1桁で毛布をかぶっての開催でしたが、地域の方々に作っていただいたカジカ汁の温かさに救われました。また、日本の伝統文化である「餅つき」を経験させたいという願いや、海にある学校として「サケの授精や孵化」を体験させたいという無茶なお願いに真摯に耳を傾け

ていただき、充実した体験活動を行うことができました。地域の皆様の子どもたちへの想いを感じました。手作りオペラや公民館祭りなど地域と学校が一体となって取り組むことができました。

## 平成

26年4月、3度目の浦幌町での勤務は浦幌小学校です。このころ、小中一貫コミュニティ・スクールが始まりました。「地域総ぐるみの教育」を合言葉に地域の大人が、真剣に子どもたちに向き合う姿を目の当たりにすることができました。「うらもんGO」や「じゃこいフェス」など、子どもを中心に据えた地域の大人たちの活動に関わることもできました。

## 4度

目の勤務となった今、初任より38年が過ぎ、大きく町は変わっていることを実感しています。しかし、保護者や地域の皆様の教育に対する熱い想いは、何ら変わっていないことを肌感感じています。時代の変化が激しく、未来を予想することが困難な時代だからこそ、子どもたち一人ひとりに、地域の皆さんから自分が愛されていること、大切に想われていることを気づかせたいと思っています。

## 小中

一貫コミュニティ・スクールを基盤とし、「確かな学力・豊かな心・健やかな体」の調和の取れた学校教育の推進に努めるとともに、地域総ぐるみで子どもたちの「生きる力」を育む教育に取り組んでまいります。